

(別紙様式2)

## 学生等評価の改善状況報告書

平成 30 年 4 月 18 日

評価会議議長 殿

工学部長

静岡大学における学生等による評価に関する基本方針に基づき、平成 24 年度に実施された学生等による評価結果に係る改善事項について、平成 29 年度の改善状況を次のとおり報告します。

改善事項
学部生の時間割
改善計画
1：講義室を増室することにより、各学科における時間割作成時の自由度を増やす。 2：カリキュラムを意識した時間割作成を行う。 実施時期（予定を含む）：来年度以降
改善状況
1：5階建ての新講義棟の建設に伴い、使用可能な教室が増えるとともに、収容人数の大きな教室の利用が可能となり、各学科の時間割作成時の自由度が増えた。 2：時間割作成時の自由度が増えたことに伴い、座学と演習の時間を適切に配置するなどの対応を行った。
達成年度（予定を含む）
平成29年度

改善事項
学部生の国際的視野（異分野理解・グローバルな問題の理解）

改善計画
<p>1： 海外の研究室との交流（SSSV活動、3年目）をさらに充実させることで、日本人学生の国際化に努める。（本年度からは学部学生に単位「海外研修(2単位)」が認定される。）</p> <p>2： 国際交流センターと協力して、日本人学生が外国人留学生と交流できるような場を提供する。</p> <p>3： 国際経験豊かな教員たちによるプロジェクトを立ち上げ、海外派遣を促すためのイベントの企画・実行や授業改善などを試みる。</p> <p>実施時期（予定を含む）：一部実施中 来年度以降に改善を検討</p>
改善状況
<p>1： SSSVの実施に向けて日本学生支援機構(JASSO)の「海外留学支援制度（協定派遣）」の支援を獲得するとともに、工学部独自の予算を手当てして実施している。平成29年度は16研究室で実施し、工学部生18名を含む84名の学生を海外に派遣した。</p> <p>2： 外国人留学生に対し、同じクラスの日本人学生が勉学・生活のアドバイスを行う留学生ピアサポーター制度を実施している。国際連携機構教員と協力の上、日本人学生の派遣や、外国人留学生支援ボランティアの情報提供を、工学部学科ガイダンス等で実施した。</p> <p>3： 工学部の独自予算（村川基金）を用いて、若手研究者の長期海外派遣を実施しているとともに、国際共同研究プロジェクトへの支援を実施している。またSSSVでは、学科横断型プロジェクトによる海外派遣に対応できるように設計している。H28年度には学科横断型の学生派遣を実施した。</p>
達成年度（予定を含む）
平成29年度

改善事項
大学院生の専門的職業人に必要な高い能力
改善計画
<p>1： 講義内容を吟味する。</p> <p>2： 研究において学生に作業を指示するだけでなく、自ら進んで考える機会を与え自発性を促す。</p>

実施時期（予定を含む）：一部実施中 来年度以降に改善を検討
改善状況
<p>1: 学んだことを応用する力や社会人基礎力の涵養を目的とした産業イノベーション人材育成プログラムを立ち上げるための準備を行い、そのカリキュラム、実施体制を整備した。</p> <p>2: より良い研究室を運営するための講演会などを実施し、互いに研究室運営、研究を進める上での学生教育に関する課題などを議論し、情報共有を行った。また、産業イノベーション人材育成プログラムでは、企業が抱える課題を教員と学生が一体となって議論する PBL をベースとした教育を実施することとしており、そのための体制整備を行った。</p>
達成年度（予定を含む）
平成29年度

改善事項
教職の学級・学校のマネジメント能力
改善計画
<p>1: 教育実習の際に必要な心構えを、講義内でも繰り返し伝える。</p> <p>2: もの作り支援等、学校現場の教育活動への参加を通して、知識やスキルを一層高めるための指導を行う。</p>
実施時期（予定を含む）：一部実施中 来年度以降に改善を検討
改善状況
<p>1: 教育実習の事前指導、事後指導や教職関連の講義内で繰り返して必要な心構えの説明は実施している。なお、工学部では教員免許を取得するものが少ない（平成28年度卒で工業：1名、数学：4名、いずれも高校1種）ことから、講義に加え学生の状況に応じて個別に対応している。</p> <p>2: 工学部では、浜松市教育委員会との連携の下で、工学部の学生が小中学校でのものづくり教育に携わっており、そうした教育現場での体験を通じて教職志望学生の知識やスキルを一層高めるための手厚い指導を行っている。教員免許を取得するものが少ないことから、今後は上記に加えて個々の学生に応じた個別的な対応を行うべく、具体的な取り組みについて検討していく。</p>
達成年度（予定を含む）

平成30年度